


熊本市域街路樹再生計画 市民ワークショップについて


・司会（モデレーター）
 熊本大学 田中 尚人 准教授
 熊本県立大学 柴田 祐 教授

・参加者 公募による市民と市内ワークショップに参加した若手職員
 （第1回：26名 第2回：19名 第3回：19名）
 高校生や20～70代の幅広い年代の方に参加いただいた




第1回ワークショップ（令和4年3月13日（日））
 街路樹再生計画についての説明

- ・10年後の街路樹の風景がどうあって欲しいか？



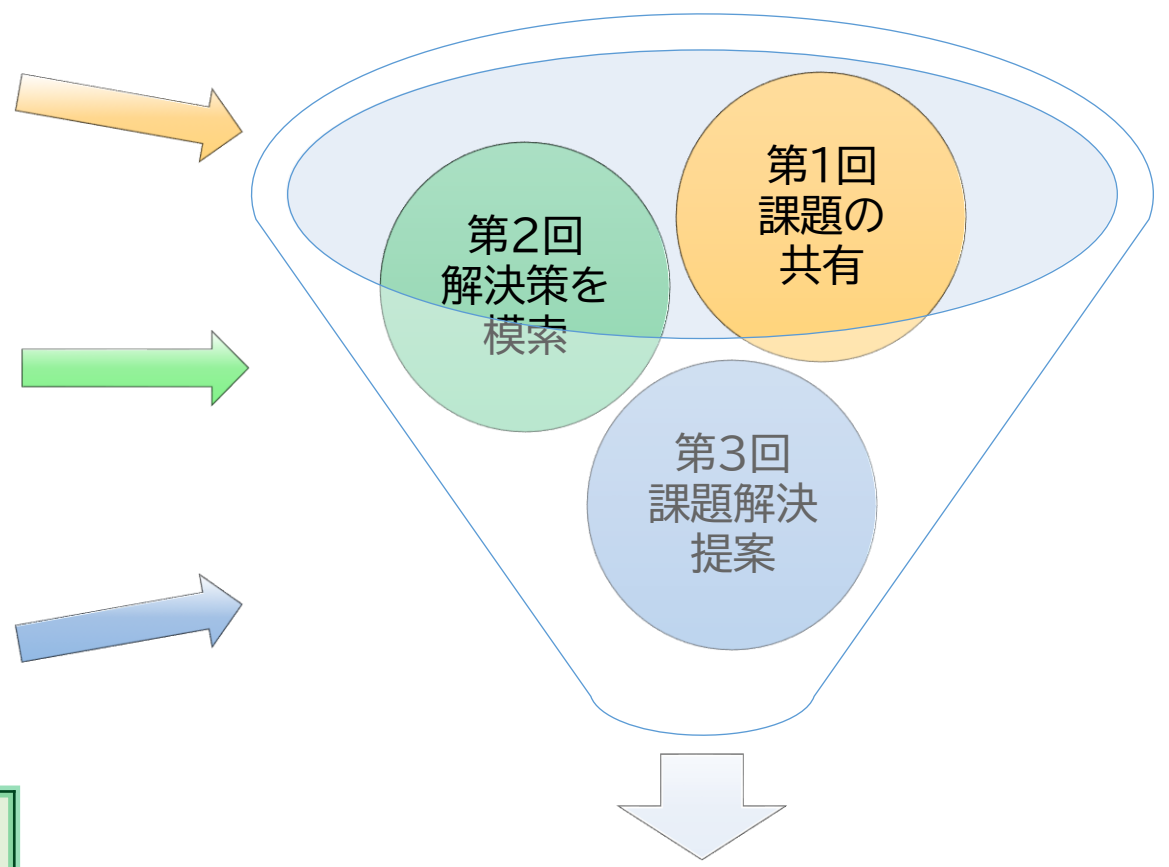
第2回ワークショップ（令和4年5月14日（土））
 講話：「熊本市の街路樹の歴史」

- ・あなたが考える持続可能な街路樹マネジメントの課題
- ・あなたが考える、やってみたい課題解決



第3回ワークショップ（令和4年6月12日（日））
 ミニレクチャー：課題解決提案に関するデザイン思考

- ・あなたが考えるやってみたい課題解決 提案



みんなでつくる将来像 (Vision)

- ・道路の木ではなく歩道から見た木を考える
- ・街路に“緑”を。木じゃなくてもよい！
- ・シン杜の都 “稼ぐ街路樹”
- ・緑は宝（金） ⇒ 都市林業
- ・価値の育て方 ⇒ みんなで価値を高める
- ・i-Tree（樹木の経済的価値）の考え方を取り入れる ⇒ SDGsにつながる

具体的な対応策 (Update)

- ・街路樹を“避難”させる（移植） ⇒ 伐採という言葉を使わない
- ・伐採した後の木がない区間について考える
- ・デジタル街路樹台帳を作成する ⇒ 価値の管理、デジタルを使った市民参加
- ・空き地に緑の適正管理
- ・緑は宝（金）：適材適所
- ・木の時間（寿命）で人間社会を考える
- ・本数より本質（街路樹の質を高める）

みんなで考えた課題解決提案

Handwritten notes from the workshop on June 12, 2022. The notes are organized into two main sections:

- 将来像 (Vision):**
 - ① 歩道から見た木を
 - ② 街路に“緑”を 木じゃなくてもよい
 - ③ シン杜の都 “稼ぐ街路樹”
 - ④ 緑は宝（金）：都市林業
- 具体的な対応策 (Update):**
 - ① 街路樹を“避難”させる 伐採という言葉を使わない
 - ② 木がない区間について考える
 - ③ デジタル街路樹台帳 価値の管理
 - ④ 空き地に緑の適正管理
 - ⑤ 緑は宝：適材適所

The notes include various annotations, dates, and names, reflecting the collaborative nature of the workshop.